



エコ・ファーストの約束

～環境先進企業としての地球環境保全の取り組み～

環境大臣 伊藤 信太郎 殿

令和6年4月10日
積水化成品工業株式会社
代表取締役社長

柏原 正人

積水化成品グループは、事業活動を通じて、人と地球環境が調和し続ける持続可能な社会の実現に貢献します。従来から注力している3R (Reduce, Reuse, Recycle) に、当社グループ独自の2R (Replace, Re-create) を加えた「SKG-5R」を実践し、SDGsに掲げられた地球規模の課題解決に寄与します。

1. SKG-5R を通じて、資源循環社会の構築に向けた取り組みに注力

- ・積水化成品グループが生産するすべての製品について、2030年度までに、使用原料の50%をバージン原料からリサイクル原料または生分解性・バイオマス由来のものに置き換えます。
- ・プラスチック資源循環法 自主回収・再資源化事業計画の認定を取得して、発泡スチロールの再資源化活動を全国に展開し、限りある資源である発泡スチロールのリサイクルを推進します。
- ・当社独自基準によるサステナブル・スタープロダクト(環境貢献製品)の創出と市場拡大を行います。
2030年度 登録累計100件、売上高比率50%以上
- ・オフィスでの分別回収を行い、再資源化を推進します。

2. カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みを促進

- ・TCFD提言に賛同し、脱炭素社会の実現に向けて気候変動対応を強化するとともに、情報開示の充実を図っていきます。
- ・事業活動ならびに製品やサービスのライフサイクル全体で、エネルギー使用量の削減と資源の有効活用を行い、2050年度カーボンニュートラル(CO₂排出量を実質ゼロ)を実現します。
- ・温室効果ガス排出量への取り組みに関する情報について開示します。(Scope1.2.3)

3. 持続可能な社会の実現に貢献すべく、環境配慮型経営を実施

- ・環境マネジメントシステムの実施、環境関連の情報開示を充実させるとともに、社会とのコミュニケーションや相互理解に努め、環境配慮型経営を促進します。

4. 環境教育や環境保全活動などの社会貢献活動を推進

- ・環境モデル事業所でのリサイクル施設見学受入れや、出張型授業の実施による地域への環境学習の機会提供、従業員への環境教育や啓発を継続的に実施します。
- ・社内に設置した社会貢献委員会を中心に、従業員による地域清掃活動や、里山保全など環境保全活動への積極的な取り組みを継続します。

上記取り組みの進捗状況を確認するとともに、その結果について環境省への報告および統合報告書やホームページによる公表を行っていきます。